

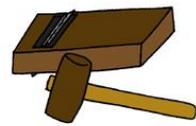
# 建具だより

冬号 2009.12月

こんにちは、笹木タテグの博です。12月になって、あわただしくなってきました。

おかげさまで1年間、健康で仕事をさせていただきました。

来年で、いよいよ40歳になります。仕事に精進して、がんばりたいです。



今年の秋、映画（火天の城）で安土城が話題になりましたが、今年の1月

「週間 安土城をつくる」という模型をみてしまい、おもわず買ってしまいました。買い始めると後には引けず、ただいま“46巻”です。トホホ……110巻で完結だそうです。毎週でるので、たいへんです。こんなになるとは思ってもみませんでした。実は、まだ作っていません。家には、破壊女王（3才の娘）(。ゝ)がいて壊されるからです。来年からポチポチ始めます。



長 浜 市 八 条 町 6 2 5  
笹 木 タテグ

電話 0749-65-0017

携帯 090-8792-7222

## 豆知識 襖（ふすま）

### 起源

古くは平安時代から貴族の住宅に使われていました。その後、中国から唐紙(からかみ・厚手の紙)が輸入され、現代のような襖の形になりました。

### 特徴

襖紙はやわらしく、おちつきます。  
取り外しが簡単にできて、なんといっても軽い！  
襖紙を張り替えると、部屋の雰囲気を変えられる。  
襖紙の種類は豊富で、和室にかぎらず洋間の仕切り・押入れにも使えます。  
(黒淵でなく洋風の枠もあります)

### 性能

保湿機能や調湿機能、室内の有害物質を吸収する機能があります。これにより寒さを防いだり、湿気が多いときは水分を吸収し、乾燥時には水分を放出してくれます。日本の風土に合う、たいへんすぐれた建具です。

### 紙の張り方

張替のとき、現状の上からそのまま紙を張ってしまう業者がいます。安価におさえる為、手抜きしているのでしょう。これでは、しばらくして前の紙のシミ・アクが、上貼の紙にでやすいです。

当店では、上貼をきれいにはがして下張りをします。**これが肝心です！**薄い紙(うけ紙)を廻りだけ糊をつけて浮かして張る施工です。こうする事で、中央部が浮いた状態になり内部に空気層ができ、保湿性・調湿性につながります。そして、下地のアク・シミや凸凹がでません。

一見すると、どちらも仕上がりは変わりません。しかし、あとあと問題がでてきます。下張りの事を少し気に掛けておいて下さい。

\*ちなみに“本ふすま”は、下張りの行程を8回行います。

今年も、いろいろ仕事をさせていただきました。



夏障子です。左は、ヨシの代わりに細い組子で作りました。とっても涼しげです。



木製の玄関戸と門戸の4本引き寄せです。開口3mあって車が出入りします。



玄関ホールのも入れと下駄箱です。赤杉の板を使いました。つやがあって、やわらしく見えます。



玄関の上がり口の千本格子を桧で作りました。右の写真は、夏にはアクリルを抜くと、夏障子に変身！2度、楽しめます。



横残の障子で、丸面をとりました。すっきり見えます。



洋間の仕切りのガラス戸

こまかく組子を組みました。



ログハウスのドア

玄関ホールの上がり口の障子